# ごあいさつ　　2020 春

わが国経済については、比較的堅調な拡大を続けてきましたが、今年に入って想定外の新型ウィルスの感染拡大という世界経済規模の環境悪化の中で景気失速の懸念が高まると同時に、反グローバル化の動きなど今後の産業活動、企業活動への不安要因も出てきています。

こうした中で、北海道経済も好調だったインバウンド外国人観光客の消費需要の落ち込みなど、今後公的な政策による下支え効果は期待されますが当面景気は停滞が続くことが懸念されます。

上記のような環境下にありますが、道内企業では人材確保や知名度アップ面の価値を認識して５年連続で企業の札証への新規上場が続くなど成長への関心が高まっており、札幌証券取引所としてもこれに対応した各種セミナー活動や企業成長のための勉強会の開催などを活発化させています。

具体的には、道内主要都市において「地方ＩＰＯ（株式公開）セミナー」を開催し、北海道企業にとって地元の身近な取引所へ上場できるメリットなどについての認識を深める活動を継続しているほか、企業経営者向け「札証成長塾」に加え、「札証成長塾ＣＦＯ編」として経営者を支えるスタッフ向けの実践講義などを学ぶ場を提供しています。

また、一方で一般投資家の皆様への情報提供として、通常札幌で行っている「個人投資家向け会社説明会」（ＩＲ）を道内主要都市へと拡大開催しており、さらに、２０１６年より東京都内において札証上場企業を紹介するＩＲを実施し首都圏の投資家からも好評を得ています。その他今後もWEBの活用拡大など、取引所の「情報の受発信機能」を一層充実してまいりたいと思っております。

札幌証券取引所は、１９５０年以来、国の特別法に基づく「証券会員制法人」として関係する多くの方々に支えられ、北海道の地域経済インフラとして企業や投資家の皆様に活用されて７０周年を迎えました。今後も広く皆様のお役に立つよう努力してまいります。

証券会員制法人 札幌証券取引所

理事長 小池 善明